公益社団法人大野城市シルバー人材センター

令和３年度事業報告

概　要

昨年は、新型コロナウイルス感染症の拡大により、緊急事態宣言やまん延防止等措置等の発令・解除が繰り返され、各種行事の中止、規模縮小や行動制限など多大な影響を受けました。

令和３年度は、事業所向けのアンケートを実施し、企業等のニーズを調査・研究することにより就業機会の拡大に努め、市内にセンターの入会案内等のチラシを配布することにより会員の拡大に努めました。

また、介護予防及び日常生活支援を目的とした「訪問型サービスＢ事業（生活支援)」の実施に伴い、多くの会員に研修会への参加を呼びかけ受講・就業してもらうなど、高齢者就業支援に努めました。

安全適正就業として、会員の就業中、就業途上及び帰宅途上における事故を防ぐため、安全・適正就業推進委員会による朝礼や「安全だより」配布による事故防止のための注意喚起、安全就業パトロールによる指導等を実施しました。その結果、福岡県安全運転管理協議会主催交通事故防止コンクールにおいて、６年連続「最優秀事業所」を受賞いたしました。

大野城市高齢者生きがい創造センターでは、施設使用において新型コロナウイルス感染予防対策に取り組み、利用者にご協力をお願いしながら講座等を実施しました。

令和３年度事業実績は、会員の皆様のこれまでの誠意ある就業努力の結果、また市行政をはじめ関係機関のご指導・ご援助及び市民の方々の深いご理解とご協力により、新型コロナウイルス感染拡大の影響をうけつつも、受注件数1,212件（前年比105件減)、就業実人員333人（前年比５人増)、就業延人員37,052人（前年比339人増)、就業率91.0％（前年比0.4％増)、公共事業63,833,307円、民間事業82,952,381円、独自事業215,600円、**合計契約額147,001,288円（前年比100.7%）**を上げることができました。

一　雇用によらない臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業機会の確保・提供事業、社会参加のための支援（公益目的事業）

１　就業開拓提供事業

⑴　受託事業（一般）

高齢者の社会参加の機会と活力ある地域づくりに寄与するため、地域社会の日常生活に密着した仕事を家庭、事業所、公共団体等より有償で引き受け、これを会員の能力や希望に応じて請負や委任により提供することで、高齢者の生きがいの充実と福祉の増進に努めました。

また市の委託業務である日常生活に支援が必要な人を対象に、介護予防を目的とした生活支援事業「訪問型サービスＢ（生活援助）」を実施し、行政及び福祉関係団体等の窓口と当センターコーディネーターの連携を密にし、生活支援・日常生活の利便性の向上に努めました。

令和 3 年度事業実績

就業実人員	就業延人員	就業率	契約金額
330 人	36,931 人日	90.0%	146,785,688 円

（主な就業分野）

公園内の除草・清掃作業、自転車等置場の整理・管理、空き家管理等

剪定、除草作業、空き地等の草刈り業務、事業所・施設の日常清掃

大工・左官仕事、襖・障子・網戸はり

高齢者・病弱者等を対象として、身の回りの世話や外出の付き添い等の福祉サービス

子どもの送迎・見守り、留守番、産前産後のお手伝い、子育て中の家事援助等の育児支援サービス

地域のサポートが必要な人に対する介護予防・日常生活支援サービス

⑵　受託事業

①　大野城市指定ごみ袋等販売代行として、環境にやさしい都市の実現に向けた省エネルギー対策等の地球温暖化防止やごみ減量・リサイクルなど環境保全に努めました。

また家庭でもできる「堆肥づくり」の普及のためダンボールコンポスト取扱所を設置し、ごみ減量・リサイクル等に対応した市民サービスの向上に努めました。

②　大野城市高齢者生きがい創造センター指定管理事業として、新型コロナウイルス感染予防対策のため施設の使用制限をしながら、市内 60 歳以上の方を対象とした「初心者の楽しむ陶芸講座」「シニア向けスマホ教室」「はじめて学ぶ介護予防・日常生活担い手養成講座」などを開催し、延べ 4,281 人（前年比 332 人増）の方が施設を利用されました。

⑶　独自事業

家庭での「エアコン清掃」や「刃物研ぎ」を行いましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、各公民館を巡回する「刃物研ぎ」を中止しました。

就業実人員	就業延人員	就業率	契約金額
3 人	121 人日	100.0%	215,600 円

二　雇用による臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業機会の確保・提供事業、社会参加のための支援（公益目的事業）

１　労働者派遣事業

地域社会における就業ニーズと高齢者が求める就業形態の多様化に応えるため、請負・委任にそぐわない就業を派遣事業として提供しました。

実績は 4 件契約し、契約金額は 2,663,168 円を上げることができました。

令和 3 年度実績

就業実人員	就業延人員	就業率	契約金額
12 人	509 人日	3.2%	2,663,168 円

（主な就業分野）

総合公園の草刈等作業、アウトドア用品の補修作業

園児の保育補助、障がい者施設における補助業務

三　高齢者の就業機会の確保や社会参加活動を発展・拡充するための普及啓発、情報提供、研修・講習、相談・助言等（公益目的事業）

１　普及啓発活動

⑴　広報活動

①　高齢者世帯に「会員募集」のチラシのポスティングを年５回実施、新規会員の入会促進に努めました。

②　大野城まどかフェスティバルにオンライン参加し、シルバー人材センター事業の普及啓発活動を行いました。

③　センターの活動状況や仕事の利用案内、研修会等を主な記事とした、会報「シルバーだより大文字」の発行、ホームページへの掲載など、普及啓発促進に努めました。

⑵　社会参加活動

地域貢献を図るため、「おおの山城大文字まつり」の時期に、会場清掃等のボランティア活動を、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止を図り、規模を縮小して実施しました。

２　安全・適正就業推進事業

⑴　安全就業対策

福岡県安全運転管理協議会主催第 40 回交通事故防止コンクールにおいて

「最優秀事業所」を受賞しました。

今年度の事故発生状況は傷害事故7件（前年度7件)、賠償事故7件（前年度7件)、合計14件（前年度14件）の事故が発生しました。

① 会員の安全就業は「安全は全てに優先する」の基本認識のもと、就業前に柔軟体操を実施し、毎月第1月曜日の朝礼において、県連合会等の安全就業ニュースを記載した「安全だより」を配布し、安全就業を呼びかけ、毎週月曜日に事故防止について注意喚起を行い、また就業前のミーティングを実施し、会員の安全就業に対する自己管理意識の高揚に努めました。

② 安全・適正就業推進委員会による機材器具点検の実施、また就業現場の巡回パトロールを2回実施し、「安全就業チェック表」を活用した就業現場の作業環境状況確認や安全保護具の着用確認を行い、注意・指導を行うなど、安全就業の徹底に努めました。

③ 市保健師に依頼し、配分金支払日に血圧測定を実施し、最新の健康状態を把握するとともに、健康管理意識の高揚に努めました。

⑵ 適正就業の徹底

適正受注と適正就業は、「臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な就業」について、ローテーション就業又はワークシェアリング就業の促進を図り、会員の就業の適正化に努めました。

3 相談事業

⑴ 入会説明会の実施

入会を希望する地域の高齢者を対象に毎月2回入会説明会を実施しました。説明会参加者は男性81人、女性66人、合計147人で、その内入会者は男性25人、女性26人、合計51人の方が入会され、入会率は35%となりました。未就業会員には毎月1回未就業相談日を実施し、就業意向・希望職種の変更等の要望を聞き、就業拡大に努めました。

⑵ 大野城市高齢者生きがい創造センター指定管理者として、高齢者の就業に関する情報の収集・提供及び相談を行いました。

4 研修・講習事業

⑴ 剪定、機械除草作業における安全就業研修をそれぞれ1回実施し、会員の確保と受注の拡大、就業会員の技能・技術の向上や安全就業に努めました。

⑵ コロナウイルス感染拡大防止対応も含めた接遇研修会を開催し21名が参加、発注者や市民等と接する心構えを取得し、会員としての資質向上に努めました。

⑶ 「訪問型サービスB事業（生活支援)」の実施等に伴い、大野城市高齢者生きがい創造センター指定管理講習介護予防講座に6人受講、（公社）福岡県シルバー人材センター連合会主催の高齢者活躍人材育成事業講習に10人

が受講し、人材の育成と就業の拡大に努めました。

⑷　子育て・福祉・家事援助サービス就業会員に対し、基礎研修会 1 回 15 人参加、清掃講習 1 回 16 人参加し、発注者の要望にできる限り対応できるよう、知識・就業に対する心構え等を研修して、資質の向上に努めました。

5　調査・研究

会員の就業機会確保に対応するため、事業所向けアンケート調査を実施し、新規職種開拓のための調査・研究を行いました。

6　財政基盤の確保

（公社）大野城市シルバー人材センター第 2 次中長期経営計画に基づき、企業努力をして、事業の発展、安定した財政運営に努めました。

7　事務局体制の充実

センター事業を円滑に運営するために、職員の役割分担及び事務分掌を見直し、事務処理の簡素化・効率化に努めました。